

第 8 回 中央区自治協議会 会議概要（速報含む）

開催日時	平成 27 年 11 月 27 日（金曜）午後 3 時 00 分から午後 4 時 25 分まで
会 場	市役所本館 6 階 講堂
出席者	<p>委員</p> <p>藤田委員, 清水委員, 田村(幸)委員, 外内委員, 浅野委員, 高橋委員, 加藤委員, 中村委員, 渡部委員, 本間(之)委員, 青木委員, 廣瀬委員, 川崎委員, 伊藤委員, 竹田委員, 志賀委員, 大堀委員, 関谷委員, 三條委員, 菊地委員, 佐藤委員, 水品委員, 豊嶋委員, 星野委員, 津吉委員, 津田委員, 長谷川委員, 本間(伸)委員, 相田委員, 李委員, 小島委員, 岩田委員, 田村(勝)委員, 肥田野委員, 大坂委員</p> <p>出席 35 名 欠席 3 名(杉原委員, 井上委員, 渡辺委員)</p> <p>事務局</p> <p>[新 潟 県] 地域整備部治水課長, 地域整備部治水課長代理 [新潟市役所] 2016 年サミット推進課長 [中央区役所] 区長, 副区長, 健康福祉課長, 建設課長, 東出張所長, 南出張所長, 中央公民館長, 地域課長, 区民生活課長補佐, 保護課長補佐, 地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>○会議の成立について 委員 38 名中 35 名出席のため, 規定により会議は成立</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 特色ある区づくり予算に係る事業について (資料 議 1)</p> <p>○事務局より, 28 年度の特色ある区づくり予算(案)について, 中央区が魅力的で活力あふれる拠点のまちの実現を目指していくための事業 3 点, 安心してすこやかに暮らせるまちとして, 災害に備えた地域の体制づくりの支援や高齢化が進む中での地域の支え合いの仕組みづくり, また, 子育て中の親を支援していくための事業 4 点, 海岸林や鳥屋野潟をテーマにした水と緑が調和したやすらぎのあるまちづくりの事業 2 点, みなとまち新潟の歴史や文化, 発酵食産業の活性化を図る, 未来につなぐ歴史・文化のまちづくりの事業 2 点, 計 11 事業の説明がありました。</p> <p>3 報告</p> <p>(1) 第 2 回 鳥屋野潟環境対策検討委員会の報告について (資料 報 1)</p> <p>○事務局より, 平成 27 年 10 月 9 日に開催された第 2 回鳥屋野潟環境対策検討委員会で討議された環境対策について説明がありました。具体的な環境対策</p>

として、ヨシの植生、堤防法面の自然植生回復や、ハクチョウ類のねぐら環境に影響を与える自動車のヘッドライトによる光害対策、住宅地に近接している区域もあることから生活環境に配慮した騒音・振動対策、自主排水基準を設ける水質汚濁対策、現存するサクラの樹木医による診断について説明があり、当面のスケジュールが示されました。

- ・外来種の対処について質問があり、築堤に鳥屋野潟の土を用いることから、対応方法について委員会にて了解を頂いているが、今後も継続調査をして専門家の意見を含めて対応していきたい旨回答がありました。
- ・鳥屋野潟の水質浄化対策について質問があり、湖岸堤整備についてはマコモを利用した自然浄化作用を用いるが、鳥屋野潟については滞筋の浚渫と新潟市、亀田郷土地改良区と協力し、排水機場を利用した水循環作用を併せて用いている旨回答がありました。

(2) 中央区区ビジョンまちづくり計画の進捗状況について

(資料 報 2-1 2-2)

○事務局より、前区ビジョンまちづくり計画の目標における 13 項目の指標について、達成状況の説明、及び実施計画の進捗状況について総括説明がありました。

- ・実施計画における外国人誘客促進事業での宿泊奨励金について、趣旨、支払先、概算金額の質問があり、担当課に確認し、次回回答する旨説明がありました。
- ・計画の目標における中心市街地歩行者交通量について、本町も含めた調査の検討要望があり、今年度からの区ビジョンにおいて、本町エリアも含めた中心市街地活性化を考えている旨回答がありました。
- ・実施計画における目指す区の姿別での達成がどういうものなのか、それにより各事業がどの程度貢献できたのか、効果があったのか、そういう視点を持って検証活動してもらいたい旨意見がありました。
- ・実施計画におけるがんばるまちなか支援事業（クリエイターのまちなか居住）での中央区で採択された 7 件の現在状況について質問があり、担当課に確認し、次回回答する旨説明がありました。

(3) G7 新潟農業大臣会合について (資料 報 3)

○事務局より、G7 新潟農業大臣会合の概要や推進協議会の概要、及び取組み内容として開催支援、広報PR、関連事業、総務渉外の事業スケジュールについて説明がありました。

- ・誘客人数、経済波及効果について質問があり、誘客人数としては 1 カ国 10 人から 15 人、プレス等を含めて計 250 人程度の見込みであること、また、経済波及効果としては、過去の A P E C 食料安全保障担当大臣会合の例から概ね 3 億円弱と考えているが、その後の学会の開催など誘発効果を期待して

	<p>いる旨回答がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイトの充実について意見がありました。 <p>(4) 部会からの報告について (資料 報4-1 4-2 4-3)</p> <p>○「拠点と賑わいのまち部会」浅野座長, 「人にやさしい暮らしのまち部会」田村(勝)座長, 「水辺とみなとのまち部会」藤田座長より部会等の開催概要, 及び検討内容について報告がありました。</p> <p>(5) 委員からの報告について (資料 報5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回鳥屋野潟環境対策検討委員会 <p>○大坂委員より, 平成27年10月9日に開催された「第2回鳥屋野潟環境対策検討委員会」について報告がありました。</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
傍聴者	3名
報道機関	1社